



〔問①〕七草の節句は何月何日ですか。

いたわり あったか

〔問②〕七草がゆを食べる理由は？

〔問③〕七草がゆにはいつている七草を答えなさい。

〔問④〕七草がゆについて、起源や由来などを調べてみよう。

七草がゆ

「七草の節句」の7日、大分市永興の臨濟寺で七草がゆが振る舞われた。参拝客はかゆを食べながら一年の健康を祈った。

無病息災や長寿を願う慣習で、正月のごちそうで疲れた胃腸をいたわる意味合いもあるとされる。

僧侶や関係者が午前7時ごろから準備。「春の七草」のセリ、ナスナ、ゴギヨウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロが入ったかゆを用意し、参拝客を寺の一室に案内して接待した。同寺では40年以上前から続けているという。

友人と訪れた由布市庄内町柿原の主婦佐藤幸子さん(64)は「ここで七草がゆを食べたのは初めて。今年も病気をせず、健康に過ごしたい」と話した。

(松尾祐哉)



七草がゆを食べる参拝客＝7日、大分市永興、撮影・山戸孝哉